

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	台東区観光ウェブサイト					所管	文化産業観光部 観光課	
	行政計画	事業NO.	36	計画事業名	台東区観光ウェブサイト	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出					[事業開始] 平成23年度	
		[小 柱] (1) 観光資源の再発見と活用の推進					[終了予定] - 年度	
		[施策] ②観光案内と情報発信の充実						
根拠法令等	その他	〔法令等名〕		なし				
事業対象	外国人を含めた観光客及び区民							
事業目的	観光に関する情報をウェブ上で発信し、観光客の利便性向上と観光客誘致を図る。							
事業内容	<p>台東区の文化・観光情報を積極的に発信し、観光客の利便性向上と観光客誘致を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間サイトと連携して「食べる」「見る」「買う」「泊まる」などのおでかけ情報の発信</li> <li>・観光パンフレット等印刷物のダウンロード機能を付加</li> <li>・観光写真のデータによる提供</li> <li>・台東くんツイッター及び新浪Weiboによる、最新情報の発信</li> <li>・英語版ウェブサイトの運営</li> </ul>							
委託の有無	一部委託	委託内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツ運用補助及び保守委託(日本語版ウェブサイト)</li> <li>・ウェブサイト構築委託(英語版ウェブサイト)</li> </ul>				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	情報更新回数	回	365	397	414	353	
		観光写真データ貸出回数	枚	1,000	821	701	913	
	成果指標	WEBサイトページビュー数	PV	1,000,000	681,872	824,099	672,931	
		台東くんフォロワー	人	12,000	7,640	8,289	10,119	
	決算額 (単位：千円)				1,106	693	7,859	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			6,376	4,812	7,134	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,090	677	7,843	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			17	17	17	
		総経費			7,483	5,506	14,994	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			165	169	109		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	3,350		
	一般財源(区負担額)			7,318	5,337	11,535		
前回評価から改善した事項	自動翻訳により機械的に直訳され、特殊な言い回しに対応できず部分的にわかりにくい文章で表現されていたことが、外国語翻訳に対する発信で大きな課題であったが、28年度に英語版の観光ウェブサイトを構築し、ネイティブによる翻訳で対応した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	国内外問わず、観光情報を入手するために、PCやスマートフォンを利用する観光客は多い。観光情報発信のスタンダードな方法としてインターネットを利用したウェブサイトの必要性は高い。					
	効率性	2	日本語版のウェブサイトはトップページから閲覧を辞退するユーザーの割合が多く、各コンテンツの情報発信が不十分な状態である。こういった事態を改善するためにも情報の所在がわかりやすく、1度のアクセスで幅広く情報収集できるよう、リニューアルを進める必要がある。					
	手段の適切性	3	インターネットの普及、情報発信の多様化に伴い、ウェブサイトによって観光情報の提供を継続的に行うことは手段として適切である。28年度は、海外ユーザーにも適切な情報提供ができるよう英語版ウェブサイトを構築し、自動翻訳による英語の壁を解消する第一歩を進めることができた。					
	目的達成度	3	英語版ウェブサイトを構築するという目的は達成できたが、日本語版ウェブサイトのページビュー数が前年を下回る結果となった。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
平成28年度は、ネイティブの翻訳による英語版ウェブサイトを構築し、情報発信の強化を図った。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、対応言語を充実させたSNSによる情報発信と連携しつつ、英語版ウェブサイトの認知度を高め、日本語版ウェブサイトについては、トップページからの離脱を防ぎ、より多くの情報を提供できるよう、リニューアルを進めていく。								